Brasilへようこそ!

第26回　食生活Ⅲ　～コロッケ!?～

以前、ブラジルの食べ方を日本の学校などで紹介すると違和感を覚える子もいることを紹介したことがあります。一枚のお皿にご飯とおかず、サラダをのせ、ご飯にフェジョン豆の料理をかけて食べる。これが、ブラジルの家庭料理の食べ方です。

一見なじみのない食べ方であるように感じられますが、日本の丼物やカレーライスの食べ方に似ていると思ってください。

また、ブラジルにはご飯を手で食べる習慣がないため、ブラジルでおにぎりを手に持って食べていたら笑われた経験があるとお伝えしたことがありますが、ブラジルでも、手で食べるものがあります。それは、日本のコロッケのようなものです。よくパーティーなどに出てくる一品で、形は日本のものとは少し違います。

ブラジルのコロッケの具はミンチ、ゆでて割いた鶏肉、ハムとチーズなどです。その具を生地で包み、衣をつけて油であげます。しかし、生地は同じでも包んだときの形によって名前が違います。

半月の形をしているのが「ヒゾーリス」、しずくの形をしたものは「コシンニャ」、丸い形にチーズを入れたものは「ボリンニョ・ジ・ケイジョ」といいます。

「コロッケがコロッケではない」

見た目はコロッケのようですが、具が包まれていて味も違うために言われたのでしょう。パーティーで出される場合は手で食べるのが普通です。いつかチャレンジしてみてください。

【彦根市国際交流員　平田エジナ】

わたしたちの「美しいひこね創造活動」

この活動は、助け合い活動

困っている人を手助けすることは、助け合い活動に該当します。

ボランティア日本語指導研修会　ひこね国際交流会VOICE

地域に住んでいる外国人と交流を深め、日本社会に溶け込むうえで困っていることがあれば手助けをしたいという思いで活動を行っています。

主な活動は、広報ひこねの外国語訳や、日本語学習を必要とする人を対象にした日本語教室の開催です。今回は、日本語教室の一環として開催した「ボランティア日本語指導研修会」を紹介します。

この研修会は、毎年夏～秋頃開催しています。日本語指導者になりたい人、興味を持っている人に指導方法を教えることを目的としています。研修会は全3回で、日本語指導の模擬授業を行ったり、外部講師の話を聞いたりして、指導のポイントを伝えています。今年は7人程度が研修会に参加されました。

参加者の一人は、「台湾人の知人がいて、自分も一緒に勉強しながら日本語を教えたいので参加しました。教えるというのは難しいと思いましたが、異文化交流もできて楽しいです」と話していました。

研修会に参加し、日本語が上達した参加者から、「今までお世話になったので、何か恩返しがしたい」という話を聞くと、やりがいを感じ、今後も外国出身者が地域住民として生活するお手伝いをしていきたいと思います。

寄附していただいた地域通貨「彦（げん）」は、活動全般に活用していきます。これからも活動を発展させていきたいです。

問い合わせ先　㊐まちづくり推進室☎30-6117、FAX22-1398
Eメール：machizukuri@ma.city.hikone.shiga.jp

※このコーナーに登場する団体・グループを募集しています。詳しくは、㊐まちづくり推進室までお問い合わせください。

参加者募集

原点回帰～プラザフェスティバル～

市制75周年記念事業

平成24年2月11日に市制施行75周年・ひこね市文化プラザ開館15周年を迎えます。そこで、更なる文化芸術の振興を図るため、日頃、練習を積み重ねてきた成果を発表する場として「プラザフェスティバル」を開催します。

参加資格　次のいずれかに該当する個人または団体（団体の場合は①～③に該当する人を含むこと）

①市内に在住、在勤、在学している。

②市内各地区公民館で活動している。

③市内を中心に活動している。

募集部門の詳細

①クラシックの部　クラシック音楽　器楽、声楽（マイクは使用できません）

②人形劇の部　幼児・児童を対象とした人形劇、紙芝居、演劇など

③邦舞・邦楽の部　日本舞踊、新舞踊、詩舞、三曲、琵琶など

④公民館サークルの部　地区公民館などで活動している団体で、過去にひこね市文化プラザで舞台発表を行ったことのない団体。

※地区公民館でサークル活動をしている人は、別の部門で応募することも可能です。

⑤舞踊の部　バレエ、エアロビクスなど

※舞台はリノリウム（滑り防止用床材）を敷きます。

⑥軽音楽の部　軽音楽（マイク、ライン等拡声装置を必要とするもの）、バンドなど

公演日

①クラシックの部　平成24年2月10日㈮

②人形劇の部　2月11日㈯

③邦楽・邦舞の部　2月11日㈯

④公民館サークルの部　2月12日㈰

⑤舞踊の部　2月12日㈰

⑥軽音楽の部　2月12日㈰

▼各部門の公演時間は約2時間です。1団体の出演時間は、転換（準備・撤収）を含めて約20分を予定し、最大6団体です。

出場者の決定　12月初旬（申込多数の場合は抽選）

申込期間

11月1日㈫～同30日㈬

申込方法　教育委員会事務局（市民会館2階）、市役所1階総合案内、各地区公民館、ひこね市文化プラザ、みずほ文化センター、市民会館にある申込書に必要事項を書いて、直接持ち込むか、郵送、ファクスで㊐教育委員会文化振興室に申し込んでください。

注意事項

①詳細は募集要項および申込書をご確認ください。

②内容により部門の変更をお願いする場合があります。

③出演順は、部門別に出演者会議を開き、決定します。

申込・問い合わせ先　㊐教育委員会文化振興室（〒522-0055　野瀬町187-4）☎23-7810番、FAX21-3080番

ひこね子ども文化芸術奨励事業「ひこね子ども文芸」作品募集

募集部門　短歌、俳句、川柳、詩（1点につき400字詰め原稿用紙2枚以内）

※各部門とも題は自由です。

応募点数　各部門ごとに1人3点以内

応募資格　市内在住、在学の小・中学生

応募の決まり　作品には必ず住所、氏名、ふりがな、電話番号、学校名・学年を書いてください。

※応募作品は未発表のものに限ります。

※応募作品は返却しません。

※入賞作品は応募者に帰属しますが、作品集、広報ひこねなどに掲載することがあります。また、作品集や彦根市ホームページなどに掲載するときに、作品の一部を修正することがあります。

※優秀作品は、報道機関に作品の情報を提供します。新聞などへの作品の掲載を希望しない人は、「新聞掲載不可」と書いてください。

表彰　各部門ごとに特選・準特選・佳作を表彰します。

※この事業は「ひこにゃん子ども文化芸術大賞」対象事業です。

応募期限　11月30日㈬

応募・問い合わせ先　㊐教育委員会文化振興室（〒522-0055　野瀬町187-4）☎23-7810番、FAX21-3080番